

# オイラトモンゴル人の野生植物利用 —新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県を事例に—

バヤリタ

## はじめに

本稿の目的は、新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県のオイラトモンゴル人が利用する野生植物を整理、公開することである。本研究で取り上げるのは、新疆ウイグル自治区イリ・カザフ自治州テケス県である。(地図 2) テケス県は新疆ウイグル自治区内でも標高が高く、かつ、標高差が大きい。また比較的雨量が多い。そのため植物の分布は 900m の平野部から 3000m 級の高山植物帯の地域にかけて広範囲に及ぶ。

## 1. テケス県の概要

### (1) テケス県自然環境

イリ・カザフ自治州の位置は新疆ウイグル自治区の西北部である(地図1)。テケス県はイリ・カザフ自治州の西南部に位置する(北緯 42° 22' 30"~43° 25' 30"、東経81° 19' 00"~82° 37' 30") (杜2004:2) (地図2)。その面積は8352km<sup>2</sup>で、東京都の約四倍である。

テケス県は天山山脈のウソン山とテレスカイタブ山の間に位置し、全体が山に囲まれた地形である。北部と南部は山岳地帯で、北部のウソン山の標高は約 3000m、南部のテレスカイタブ山の最高標高は 4902m である。中央部は南北を山脈に挟まれた盆地で平野が広がる。中央部の標高は約 900m で、平野をテケス河が西から東に流れている。

年平均降水量は約 382mm で、山岳地帯では 600mm 以上となる。夏雨型で、4月から9月の降水量は計約 333mm、年平均降水量の 87%を占める。

平均気温は 9℃と寒冷であるが、標高差が 4000m もあるため、標高に応じて7月の平均気温は 14℃から 23℃、1月ではマイナス 12℃からマイナス 7.6℃と気温の差が激しい。

テケス県の総人口は 1990 年現在 16 万人で、23 の民族が居住している。カザフ族は 40%、漢族は 24%、回族は 13%、ウイグル族は 12%となり、これら 4 民族で全体の 89%を占める。オイラトモンゴル人は全人口の 4%を占め、約 5000 人に過ぎない。

山岳地帯ではカザフ人とオイラトモンゴル人が主に移牧 (*transhumance*) を行い、羊、牛、馬、ラクダ、山羊の家畜を飼育している。移牧とは定住村を持ちつつ、移動しながら家畜の放牧を行う牧畜形態である(渡辺2009)。



地図1 新疆ウイグル自治区



地図2 イリ・カザフ自治州テクス県

テクス県のオイラトモンゴル人の牧畜民は平野と高地との標高と気候の差異を利用し、季節移動しながら放牧を行っている。彼らは冬営地にウーチュグ<sup>1</sup> (*üüčüg*)<sup>2</sup> と呼ばれる定住の家屋を持ち、寒い季節にのみ家畜を舎飼いし、夏はメヒーンゲル (*meqin ger*) と呼ばれるゲルに住んで放牧を行っている。

降水量が比較的多いため、標高の低い平野部では、小麦、ヒマワリ、トウモロコシ、カラシナ、煙草などの農作物や、リンゴ、スイカ、アンズなどの果物の生産も盛んである。農耕だけではなく牛、馬、羊、山羊、豚、鶏、驢馬も飼育されている。

## (2) テクス県のオイラトモンゴル人

オイラトという名称は「森の人々」を意味するオイギン・イレゲン (*öi -in irgen*) に由来する。モンゴル帝国以前、バイカル湖西部のアンガラ川からエニセイ川にかけての流域、現在のモンゴル国西部のフブスグルからトゥヴァ共和国の地域に居住していた。彼らは森の中で狩猟を営む集団であった。そのため「森の人々」と呼ばれるようになったという。オイラトモンゴル人は「西部のモンゴル」とも呼ばれている。現在、オイラトモンゴル人は中国新疆ウイグル自治区をはじめ、内モンゴル西部、青海省、甘粛省、ロシア連邦カルムイク共和国、モンゴル国西部に居住している。

新疆のオイラトモンゴル集団は大きく四つに分けられる。オーイラト (*öild*)、トルグート (*torguud*)、ホシュート (*hošuid*)、ドルベト (*dörbüt*) の四つの部族集団である。使用する言語はモンゴル語のオイラト方言である。宗教は仏教である。

## 2. 実地調査

### (1) インフォーマント

筆者はテキス県のオイラトモンゴル人を対象に実地調査<sup>3</sup>を行なった。インフォーマントは医師 2 名、牧畜民 2 名、農耕民 4 名の計 8 名である (表 1)。

医師とはエムチ (*emči*) といい、チベット仏教僧から医学知識を学んだ人を指す。医師 A 氏は平野にある村、B 氏は平野に形成された人民政府行政鎮にあるバザル区に居住している。

牧畜民とはマルチン (*malčin*) といい、牛、馬、ラクダ、羊、山羊の五畜を飼育する人々を言う。牧畜民 A 氏と牧畜民 B 氏は北部の山地に居住している。

農耕民とはタリヤチン (*taraačin*) といい、農耕に従事している人々を指す。栽培作物は主に小麦、ヒマワリ、トウモロコシである。農耕の傍ら、羊と馬と牛を飼養している。移動をせず、定住放牧を

<sup>1</sup> 本稿のモンゴル語のカタカナ表記はオイラト方言の発音に基づいている。

<sup>2</sup> 本稿のモンゴル語表記は標準モンゴル語記号に準ずる。

<sup>3</sup> 実地調査は計 3 回である。2011 年 9 月 5 日～9 月 28 日までの計 24 日と 2014 年 2 月 20 日～3 月 10 日までの計 28 日、2014 年 8 月 24 日～8 月 30 日までの 7 日間である

し、平野部に居住する。彼らは現在自他称共に農耕民である。

表1 インフォーマント一覧

生業	名前	性別	年齢 (2011年現在)	居住地	部族
医師	A	男性	59歳 (1952年生)	平野	トルグート
	B	男性	71歳 (1941年生)	平野	オーイラト
牧畜民	A	男性	58歳 (1953年生)	山の南麓	トルグート
	B	女性	58歳 (1953年生)	山の南麓	トルグート
農耕民	A	女性	92歳 (1919年生)	平野	トルグート
	B	女性	86歳 (1925年生)	平野	トルグート
	C	女性	62歳 (1949年生)	平野	トルグート
	D	女性	59歳 (1952年生)	平野	トルグート

## (2) 調査方法

野生植物を薬として利用するため、植物を熟知している医師を対象に調査を行った。

医師と共に山に入り、植物と生育環境を実見しながら、植物の名前と具体的な利用法について聞き取りした。牧畜民と農耕民には、植物の実物を見せ、聞き取りし、確認した。

## 3. テクス県の野生植物

### (1) 植物一覧

この8名のインフォーマントが利用する野生植物は全部で65種であった(巻末の植物一覧)。見出しはオイラトモンゴルの植物名称で、あいうえお順になっている。植物名称にはモンゴル語のオイラト方言の発音記号を付記している。

項目の別名、生育地、民俗分類、用途はインフォーマントによるものである。別名とは見出しの名前とは別の名称である。生育地とは植物の主な生育場所である。民俗分類とはインフォーマントによる一つの分類である。学名、科名、和名、中国語名、内モンゴル名、標高、生物学分類は(杜 2004)、(バトモンク 2012)、(王 2006)、『種子植物図鑑』(1977)と千葉大学の系統分類YListサイト、BG Plants 日本植物学名検索システム、中国百度などのインターネットサイトによって筆者が同定したものである。出典はそれぞれ文末脚注に示している。内モンゴル名とは内モンゴル自治区の通称である。植物の写真は特に明記しない限り筆者が撮影したものである。

## (2) 植物分類

オイラトモンゴル人は植物を栽培植物 (*termül urgumul*) と野生植物 (*zerlig urgumul*) と二つに分類している。ここで取り上げるのは野生植物である。

生物学の分野では植物をその生活形によって草本と木本と大きく二つに分類する。草本は地上にある茎は生存する期間が短く、木化した後肥大成長することがほとんどない。木本は地上の茎は1年越えて生き続け、木化し肥大成長する (岩瀬、大野 2004)。

草本はその生活史<sup>4</sup>の長さによって一年草、二年草、多年草に分別される。一年生草本とは地下部を含め、植物全体が、発芽後1年以内に開花、結実し、枯死する植物をいう。二年草本とは秋または春に発芽し、1年目の夏にはもっぱら栄養器官の成長をおこない、2年目に開花、結実し、生存期間は1年以上2年未満の草本をいう。多年草とは少なくとも地下部は2年以上生存し、成熟後はふつう2回以上、原則として毎年開花、結実する草本をいう。

木本はその高さや形状によって高木 (喬木)、亜高木 (小高木)、低木 (灌木)、亜低木 (半低木)、矮性低木 (小低木、匍匐性低木) に分類され、葉の生続期間によって落葉樹、常緑樹と分類される。それ以外、葉の形によって大きく広葉樹と針葉樹と分類される (清水 2001)。

オイラトモンゴル人の植物の分類は生物学的な分類と大きく異なり、彼らは野生植物を形態と用途に応じて、大きく樹木と草と花卉の三つに分類する (表 2)。樹木は果実の有無によって果樹とそれ以外の樹木に分類される。果樹ではない樹木は「普通の」(*engin*) と表現されている。草は用途によって薬草と家畜用の草と普通の草の3つに分類されている。花卉は用途によって薬用と普通の花卉に分類される。

表 2 植物の民俗分類

形態	下部分類		
樹木 (モドン <i>modun</i> )	果実	有	果樹 (ゼミスイン・モドン <i>zemis in modun</i> )
		無	普通の樹木 (エンギン・モドン <i>engin modun</i> )
草 (オブスン <i>öbüsün</i> )	薬用		薬草 (エミイン・オブスン <i>em in öbüsün</i> )
	家畜用	有	家畜の草 (マルイン・オブスン <i>mal in öbüsün</i> )
無		普通の草 (エンギン・オブスン <i>engin öbüsün</i> )	
花卉 (セセグ <i>čečeg</i> )	薬用	有	薬用花卉 (エミイン・セセグ <i>em in čečeg</i> )
		無	普通の花卉 (エンギン・セセグ <i>engin čečeg</i> )

(牧畜民 B の聞き取にもとづき作成)

<sup>4</sup> 生活史とは草の種子から発芽し、成長、開花、結実し、一生を終えるまでの過程をいう。

このような分類から、植物の用途には食用と薬用と家畜用があることがわかる。「普通の」と表現される植物の用途は主に生活用である。生活用には化粧、染料、信仰、虫の予防剤、煙草、洗剤、娯楽、楽器、建築、燃料などがある。

### (3) 生育地

植物図一覧から植物の生育地をまとめたのが(表3)である。生育地として言及されるのは地形名称である。地形が高いと認識されているものに順じて高い方から低い方に並べている。人々は採集する植物がどこに生育しているのかを熟知している。なぜなら、同じ種類の薬草でも生育している場所によって効果が異なると考えられているからである。

表3 植物の生育地

地形名称	日本語訳
シリ ( <i>šil</i> )	山の頂の草地
オルクン・ガザル ( <i>ölkün gazar</i> )	山の南麓
アル・ガザル ( <i>ar gazar</i> )	山の北麓
ゴリ ( <i>gol</i> )	谷
アダラガン・ガザル ( <i>adargan gazar</i> )	山の低地、褶曲山脈を成している
コデ・ガザル ( <i>köde gazar</i> )	平野
シレギ ( <i>širig</i> )	湿地
トハ ( <i>toha</i> )	森林

### (4) 生業と地形との関係

医師AとBは「コデ・ガザル」と呼ばれる平野にある村に暮らしているが、テキサス県全域で植物を採集している。

牧畜民にとって、植物の生育地は牧地でもある。春は「オルクン・ガザル」といわれる山の南麓と「ゴル」と言われる谷で放牧し、夏には「アル・ガザル」という山の北麓と「シリ」と呼ばれる山の頂の草地に放牧する。秋には「コデ・ガザル」といわれる平野と「トハ」という森林と「シレギ」という湿地帯に放牧を行う。冬には日当たりの良い暖かい「オルクン・ガザル」という山の南麓に移動し放牧する。採集はその滞在中に行われている。牧畜民が移牧で利用する土地が主な生育地となっていることがわかる。

農耕民は「コデ・ガザル」といわれる平野で農業を営み、彼らは必要に応じて生育地に出向い採集する。

## おわりに

本稿では、筆者が実見確認したテケス県のオイラトモンゴル人が利用する 65 種の野生植物を整理、公開した。人々は野生植物を日常的に利用し、今日でも薬用、食用、家畜用、生活用など広範囲に利用している。本調査から、オイラトモンゴル人の植物の形態と利用に即した分類が明らかになった。植物の生育環境として認識されている地形名称はオイラトモンゴル人の地形認識でもある。この地形認識はオイラトモンゴル人の伝統的な生業である移牧と密接な関係がある。

## 引用文献

### 【日本語】

岩槻邦男 (1998)

『シルクロードに生きる植物たち』研成社

倉田悟 (1969)

『植物と民俗』地球出版

岩瀬徹・大野啓一 (2004)

『写真で見る植物用語』全国農村教育協会

小長谷有紀・サランゲレル・児玉香葉子 (2007)

『オーラルヒストリーエジネーに生きる母たちの生涯ー』オアシス地域研究会報別冊

斉藤正三 (1979)

『植物と日本文化』八坂書房

清水建美 (2001)

『植物用語事典』八坂書房

デレゲル (2005)

『モンゴル医薬学の世界』出帆新社

難波恒雄・池上正治 (2001 年)

『天山山脈薬草紀行』平凡社

菱田敦之 (2008)

「植物の宝庫エチオピアの薬用植物」。薬用植物研究会 30-2:9~15

渡辺和之 (2009)

『羊飼いの民族誌ーネーパール移牧社会の資源利用と社会関係』東京明石書店

### 【中国語】

杜殿卿主编 (2004)

『特克斯县地方志』新疆人民出版社  
徐新・巴哈尔古丽・黄尔汗主编 (2009)

『哈萨克药志』民族出版社  
王兆松主编 (2006)

『新疆北方地域野生資源植物』新疆科学技术出版社

### 【モンゴル語】

Batumönkü (2012)

*Šinjiang –in mongyul emt bödüs-in zurugtu toil* Šinjiang- un šinjilaq uhaan tegneg mergejil –in qeblel – ün qoriy-a . (バトモンク 2012 『新疆モンゴル族における薬物図鑑』新疆科学技術出版社)

Г. Цэрэнбалжид (2002)

*Монгол орны хөлгэрэн ургамлын өнгөт цомог улааньяатар* . (ガ・セレンバラジド 2002 『モンゴル地域における平野植物図鑑』ウランバートル)

Liu zhenguo.čec̣inbaatur (2011)

*Šilin gol aimeg-un mongyul –un emlelyi –in surug čimen ni bütügel –un tübüger.Öbür mongyul-un arad – un qeblel –ün qoriy-a* . (劉振国・セチン・バートル 2011 『シリンゴル盟におけるモンゴル医学の情報集』内モンゴル人民出版社)

Otqun tömürböq (2008)

*abugu qošun -ni belčir-un urğumul- .Öbür mongyul-un arad –un qeblel –ün qoriy-a* . (オトホントムルボフ 2008 『アブグ旗の牧草』内モンゴル人民出版社)

Öbür mongyul-un bağšin iq surgyl-un ami bödüs-in salbur , Öbür mongyul-un surxun qümjil – qeblel – ün qoriy-a baigal –in šinžilahaanni nairalah qildas (1776)

*Ürtü urğumul-un zurugtu toli* Öbür mongyul-un surxun qümjil – qeblel – ün qoriy-a . (内モンゴル師範大学生物系・内モンゴル教育出版社理学科学編集室 1976 『種子植物図鑑』内モンゴル教育出版社)

### 謝辞：

本研究をまとめるにあたり、多くの方々にご助力いただきましたことを、心より感謝申し上げます。まず、植物について知識を教え、調査にご協力くださったテクス県の8名のインフォーマントの方々に感謝申し上げます。千葉大学工学部共生応用化学植物専門の実関先生、千葉大学理学部地球生命圏科学の植物地理学専門の朝川毅守先生と内モンゴル大学のタヤ先生のご指導やコメントをいただき、深く感謝したい。本稿の日本語を丁寧に直していただいた身崎とめこ先生に感謝したい。2014年度の実地調査は「アフロ・ユーラシア内陸乾燥地文明の歴史生態人類学的研究(科研費:26257003) 基盤研究(A) 研究代表者・嶋義仁・名古屋大学教授」によるものである。



1 アラタン・ドゥスル・セセグ [altən dʊsʊl tsetseɡ]	
	<p>【別名】—</p> <p>【生育地】谷（ゴル）、山の低地（アダラガン・ガザル）</p> <p>【生育標高】1400m 以上</p> <p>【学名】<i>Inula britannica</i> L.</p> <p>【科名】キク科<sup>2</sup></p> <p>【和名】オグルマ<sup>3</sup></p> <p>【中国語名】旋覆花<sup>4</sup></p> <p>【内モンゴル名】アラタン・ドゥスル・セセグ</p> <p>【生物学分類】多年生草本<sup>5</sup></p> <p>【民俗分類】草<sup>6</sup></p> <p>【用途】薬用</p>
	引用 <sup>1</sup>

2 アルツン [artsən]	
	<p>【別名】ホン・アルツン[χøn artsən]</p> <p>【生育地】山の南麓（オルクン・ガザル）</p> <p>【生育標高】1500m～2800m</p> <p>【学名】<i>Savin Savin Juniper</i><sup>7</sup></p> <p>【科名】ヒノキ科</p> <p>【和名】サビナビャクシン<sup>8</sup></p> <p>【中国語名】沙地柏<sup>9</sup></p> <p>【内モンゴル名】ホニ・アルツ</p> <p>【生物学分類】灌木<sup>10</sup></p> <p>【民俗分類】樹木<sup>11</sup></p> <p>【用途】薬用、線香用、儀礼用</p>
	<p>撮影年月：2011年9月</p> <p>撮影場所：シャナガ（山の南麓）</p>

3 ウスン・オブスン [ysyn øβsyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホシロトハ（湿地）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】900m以上

【学名】*Sonchus brachyotus* DC.<sup>12</sup>

【科名】キク科<sup>13</sup>

【和名】ハチジョウナ<sup>14</sup>

【中国語名】苣荬菜<sup>15</sup>

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】一年生草本<sup>16</sup>

【民俗分類】草<sup>17</sup>

【用途】家畜用、食用

4 ウクル・ハル・ボリジラガン [ykyr χar bəldžiryən]

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）、山の頂の草地（シリ）

【生育標高】1600m以上

【学名】不明

【科名】不明

【和名】不明

【中国語名】不明

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】不明

【民俗分類】不明

【用途】食用

5 ウレー [ylæ:]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（谷）

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）
- 【生育標高】1400m 以上
- 【学名】*calvatis gigantean* L.
- 【科名】ホコリタケ科<sup>18</sup>
- 【和名】キノコ
- 【中国語名】大马勃
- 【内モンゴル名】ドゥライ・モグ
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】不明
- 【用途】薬用

6 エンデスン [ændəsən]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：ホジルトハ（湿地）

- 【別名】マノ[mano]
- 【生育地】湿地（シレギ）、山の北麓（アル・ガザル）谷（ゴル）
- 【生育標高】900m 以上
- 【学名】*Inula helenium* L.<sup>19</sup>
- 【科名】キク科<sup>20</sup>
- 【和名】オオグルマ<sup>21</sup>
- 【中国語名】土木香<sup>22</sup>
- 【内モンゴル名】ゴユ・アラタン・ドゥスル・セセゲ<sup>23</sup>
- 【生物学分類】多年生草本<sup>24</sup>
- 【民俗分類】草<sup>25</sup>
- 【用途】薬用、家畜用

7 エンギセグ [engisig]



引用<sup>26</sup>

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1600m 以上

【学名】*Arnebia euchroma* (Royle) Johnst.<sup>27</sup>

【科名】ムラサキ科

【和名】ムラサキ

【中国語名】新疆紫草

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】多年生草本

【民俗分類】不明

【用途】生活用、染料用

8 エルベン [erβen]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ダワン（山の南麓）

【別名】—

【生育地】山の南麓（オルクン・ガザル）

【生育標高】1600m 以上

【学名】*Artemisia sieversiana* Willd.<sup>28</sup>

【科名】キク科

【和名】ハイイロヨモギ<sup>29</sup>

【中国語名】大籽蒿<sup>30</sup>

【内モンゴル名】ツアガン・エルマ<sup>31</sup>

【生物学分類】多年生草本

【民俗分類】草<sup>32</sup>

【用途】薬用、家畜用

9 エレゲテンネ・ガル [erkiten næ Gar]



引用<sup>33</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）
- 【生育標高】1600m 以上
- 【学名】*Gymnadenia conopsea* (L) R.Br.<sup>34</sup>
- 【科名】ラン科
- 【和名】テガタチドリ<sup>35</sup>
- 【中国語名】手掌参<sup>36</sup>
- 【内モンゴル名】アラガン・ツァキルム<sup>37</sup>
- 【生物学分類】多年生草本<sup>38</sup>
- 【民俗分類】草<sup>39</sup>
- 【用途】薬用

10 エル・ザムバ [er zamba]



引用<sup>40</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）
- 【生育標高】1600m
- 【学名】*Malva silvestris* L.<sup>41</sup>
- 【科名】アオイ科
- 【和名】ウスベニアオイ<sup>42</sup>
- 【中国語名】錦葵果<sup>43</sup>
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】多年生草本<sup>44</sup>
- 【民俗分類】花卉<sup>45</sup>
- 【用途】染料用

11 エルミン [ælmɪn]



引用<sup>46</sup>

- 【別名】 エイム[æjim]
- 【生育地】 どこでも
- 【生育標高】 1200m 以上
- 【学名】 *Malussieverti*<sup>47</sup>
- 【科名】 バラ科<sup>48</sup>
- 【和名】 リンゴ
- 【中国語名】 野生苹果
- 【内モンゴル名】 アルムロト
- 【生物学分類】 落葉高木樹<sup>49</sup>
- 【民俗分類】 樹木<sup>50</sup>
- 【用途】 食用、家畜用

12 オルスン [ɔlsɒn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】 ー
- 【生育地】 どこでも
- 【生育標高】 900m 以上
- 【学名】 *Cannabis sativa*<sup>51</sup>
- 【科名】 クワ科<sup>52</sup>
- 【和名】 大麻<sup>53</sup>
- 【中国語名】 火麻仁<sup>54</sup>
- 【内モンゴル名】 オルスウ
- 【生物学分類】 一年生草本<sup>55</sup>
- 【民俗分類】 草<sup>56</sup>
- 【用途】 煙草用、紐用

13 オルグ [øryg]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（平野）

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）、平野（コデ・ガザル）

【生育標高】1200m以上

【学名】*Prunus armeniaca* L.<sup>57</sup>

【科名】バラ科<sup>58</sup>

【和名】アンズ

【中国語名】杏仁

【内モンゴル名】ヘルン・グイルス<sup>59</sup>

【生物学分類】落葉小高木<sup>60</sup>

【民俗分類】樹木<sup>61</sup>

【用途】食用、薬用

14 カオカボンバ [kaβka bɔmba]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】900m以上

【学名】*Taraxacum ssp.*<sup>62</sup>

【科名】キク科

【和名】タンポポ<sup>63</sup>

【中国語名】蒲公英

【内モンゴル名】バグバハイ・セセゲ

【生物学分類】多年生草本

【民俗分類】花卉<sup>64</sup>

【用途】家畜用、薬用

15 ガザル・ベリヤチ [Gazər bereŋ]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】1000m以上

【学名】*Euphorbia humifusa*

【科名】トウダイグサ科

【和名】ニシキソウ<sup>65</sup>

【中国語名】地綿草

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】一年生草本

【民俗分類】草<sup>66</sup>

【用途】家畜用

16 ガンデガエル [GændGær]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（平野）

【別名】—

【生育地】平野（コデ・ガザル）、谷（ゴル）

【生育標高】1300m以上

【学名】*Rubus sachalinensis*<sup>67</sup>

【科名】バラ科<sup>68</sup>

【和名】エゾイチゴ<sup>69</sup>

【中国語名】珍珠杆<sup>70</sup>

【内モンゴル名】ツァイブル・ポリジルガン<sup>71</sup>

【生物学分類】落葉灌木

【民俗分類】不明

【用途】食用、薬用



17 キチ [Gif]



引用<sup>72</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1100m 以上
- 【学名】*Sinapis alba* L.<sup>73</sup>
- 【科名】アブラナ科
- 【和名】カラシナ<sup>74</sup>
- 【中国語名】芥子<sup>75</sup>
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】一年生草本
- 【民俗分類】草<sup>76</sup>
- 【用途】食用、家畜用

18 ケンゲリギ・オブスン [keŋ girig øβsyn]



引用<sup>77</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】山の南麓（オルクン・ガザル）
- 【生育標高】1400m 以上
- 【学名】*Thlaspi arvense* L.<sup>78</sup>
- 【科名】アブラナ<sup>79</sup>
- 【和名】セキメイ<sup>80</sup>
- 【中国語名】菥蓂子<sup>81</sup>
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】多年生草本<sup>82</sup>
- 【民俗分類】草<sup>83</sup>
- 【用途】薬用、家畜用

19 ケリケ・サラ [kelke sala]



引用<sup>84</sup>

【別名】—

【生育地】山の低地（アダラガン・ガザル）、平野（コデ・ガザル）

【生育標高】1200m

【学名】*Tulipa iliensis*<sup>85</sup>

【科名】ユリ科

【和名】アマナ<sup>86</sup>

【中国語名】光慈姑<sup>87</sup>

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】多年生草本<sup>88</sup>

【民俗分類】不明

【用途】食用、家畜用、薬用

20 ケレスン [kersən]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】900m以上

【学名】*Chenopodium acuminatum* Willd.<sup>89</sup>

【科名】アカザ科<sup>90</sup>

【和名】マルバアカザ<sup>91</sup>

【中国語名】尖头叶藜

【内モンゴル名】トグルグノウリ

【生物学分類】一年生草本<sup>92</sup>

【民俗分類】草<sup>93</sup>

【用途】洗剤用

21 ゲシン [geʃin]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ハンガンゴル（谷）

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1800m<sup>94</sup>

【学名】*Rheum wittrockii* lundstr.<sup>95</sup>

【科名】デタ科<sup>96</sup>

【和名】大黃<sup>97</sup>

【中国語名】天山大黃<sup>98</sup>

【内モンゴル名】ゲシン

【生物学分類】多年生草本<sup>99</sup>

【民俗分類】不明

【用途】食用、薬用

22 ゴニド [Gond]



引用<sup>100</sup>

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1600m

【学名】*Coriandrum cativum* L.<sup>101</sup>

【科名】セリ科

【和名】コリアンダ<sup>102</sup>

【中国語名】芫荽子<sup>103</sup>

【内モンゴル名】ウネルト・ノガ<sup>104</sup>

【生物学分類】一年生草本<sup>105</sup>

【民俗分類】不明

【用途】薬用、食用

23 ザムバ・セセゲ [zamba tsetseg]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】どこでも
- 【生育標高】900m以上
- 【学名】*Malva sylvestris* L.<sup>106</sup>
- 【科名】アオイ科
- 【和名】ウスベニアオイ
- 【中国語名】錦葵
- 【内モンゴル名】ザムバ・セセゲ
- 【生物学分類】二年生草本
- 【民俗分類】草<sup>107</sup>
- 【用途】トイレットペーパー用

24 ゼゲデ [zegde]



引用<sup>108</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）、平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1200m以上
- 【学名】*Elaeagnus angustifolia* L.<sup>109</sup>
- 【科名】グミ科
- 【和名】ヤナギバグミ<sup>110</sup>
- 【中国語名】沙枣<sup>111</sup>
- 【内モンゴル名】ジグデ
- 【生物学分類】落葉小低木
- 【民俗分類】樹木<sup>112</sup>
- 【用途】食用、薬用

25 ゼデゲン [zedgen]	
	<p>【別名】一</p> <p>【生育地】谷（ゴル）、山の頂の草地（シリ）</p> <p>【生育標高】1700m 以上</p> <p>【学名】不明</p> <p>【科名】不明</p> <p>【和名】不明</p> <p>【中国語名】不明</p> <p>【内モンゴル名】不明</p> <p>【生物学分類】不明</p> <p>【民俗分類】不明</p> <p>【用途】食用</p>

26 ゼゲスン [zagsun]	
 <p>撮影年月：2011年9月</p> <p>撮影場所：ホジルトハ（湿地）</p>	<p>【別名】一</p> <p>【生育地】湿地（シレギ）、森林（トハ）</p> <p>【生育標高】1100m</p> <p>【学名】<i>typha angustifolia</i> L<sup>113</sup></p> <p>【科名】ガマ科</p> <p>【和名】ヒメガマ</p> <p>【中国語名】狭叶香蒲（水烛）<sup>114</sup></p> <p>【内モンゴル名】モリン・ゼゲス<sup>115</sup></p> <p>【生物学分類】多年生草本</p> <p>【民俗分類】草<sup>116</sup></p> <p>【用途】生活用品、家畜用</p>

27 シャブドル [ʃaβdɔl]

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）、山の頂の草地（シリ）
- 【生育標高】1600m 以上
- 【学名】不明
- 【科名】不明
- 【和名】不明
- 【中国語名】不明
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】樹木
- 【用途】食用

28 シキリ・ブヤ [ʃikiri bɔja]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】900m 以上
- 【学名】*Glycyrrhiza uralensis* Fisch.<sup>117</sup>
- 【科名】マメ科
- 【和名】カンゾウ
- 【中国語名】甘草
- 【内モンゴル名】シキリ・エブスㄱ
- 【生物学分類】多年生草本<sup>118</sup>
- 【民俗分類】草<sup>119</sup>
- 【用途】薬用、家畜用

29 シミリデグ [ʃimildig]

【別名】—  
 【生育地】山の頂の草地（シリ）  
 【生育標高】1600m  
 【学名】不明  
 【科名】不明  
 【和名】不明  
 【中国語名】不明  
 【内モンゴル名】不明  
 【生物学分類】不明  
 【民俗分類】不明  
 【用途】食用

30 ショーウラー [ʃʊ:ra:]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ハンガンゴル（谷）

【別名】—  
 【生育地】谷（ゴル）  
 【生育標高】1700m  
 【学名】*Allium macrostemon*  
 【科名】ヒガンバナ科  
 【和名】ノビル  
 【中国語名】野酸  
 【内モンゴル名】不明  
 【生物学分類】多年生草本  
 【民俗分類】不明  
 【用途】食用、薬用

31 シャル・モドン [ʃar mɔdɔn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ハンガンゴル（谷）

【別名】—

【生育地】森林（トハ）、山の北麓（アル・ガザル）、山南麓（オルクン・ガザル）、谷（ゴル）

【生育標高】1400m

【学名】*Berberis heteropoda* Schrenk<sup>120</sup>

【科名】メギ科

【和名】珍果メギ<sup>121</sup>

【中国語名】刺黄柏<sup>122</sup>

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】落葉小低木<sup>123</sup>

【民俗分類】樹木<sup>124</sup>

【用途】薬用

32 ソハー [sɔχɑ:]



引用<sup>125</sup>

【別名】—

【生育地】森林（トハ）、平野（コデ・ガザル）

【生育標高】1000m以上

【学名】*Artemisia argyi* Lecl .et Vant.<sup>126</sup>

【科名】キク科

【和名】ヨモギ<sup>127</sup>

【中国語名】艾蒿<sup>128</sup>

【内モンゴル名】ソイハ<sup>129</sup>

【生物学分類】多年生草本<sup>130</sup>

【民俗分類】草<sup>131</sup>

【用途】薬用



33 スールゲン・オブスン [su : ryon oβsyn]



引用<sup>132</sup>

【別名】一

【生育地】平野（コデ・ガザル）

【生育標高】1200m 以上

【学名】*Orostachys thyrsoiflora* L.<sup>133</sup>

【科名】ベンケイソウ科

【和名】ツメレンゲ<sup>134</sup>

【中国語名】瓦松

【内モンゴル名】ツェツェン・エブスン<sup>135</sup>

【生物学分類】多年生草本<sup>136</sup>

【民俗分類】草<sup>137</sup>

【用途】薬用

34 ソンズ [sonz]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：バホルグ（平野）

【別名】シベ・オブスン [ʃiβæ oβsyn]

【生育地】どこでも

【生育標高】900m 以上

【学名】*Arctium lappa* L.<sup>138</sup>

【科名】キク科<sup>139</sup>

【和名】ゴボウ<sup>140</sup>

【中国語名】牛蒡子<sup>141</sup>

【内モンゴル名】シペートウル<sup>142</sup>

【生物学分類】多年生草本<sup>143</sup>

【民俗分類】草<sup>144</sup>

【用途】家畜用、鼠予防剤用

35 ズウン・オブスン [zyn øβsyn]



撮影年月：2011年9月  
撮影場所：クレ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】山の低地（アダラガン・ガザル）、平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1300m
- 【学名】不明
- 【科名】不明
- 【和名】不明
- 【中国語名】不明
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】草<sup>145</sup>
- 【用途】家畜用

36 タビリハー [tæβilχæ:]



撮影年月：2011年9月  
撮影場所：ホジルトハ（山の南麓）

- 【別名】—
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）、山の北麓（アル・ガザル）、山の南麓（オルクン・ガザル）
- 【生育標高】1200m
- 【学名】不明
- 【科名】不明
- 【和名】不明
- 【中国語名】不明
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】樹木<sup>146</sup>
- 【用途】薬用、燃料用

37 タン・オブスン [tan oβsyn]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：バホルグ（平野）

【別名】—

【生育地】平野（コデ・ガザル）、谷（ゴル）、森林（トハ）

【生育標高】1000m

【学名】不明

【科名】不明

【和名】不明

【中国語名】不明

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】不明

【民俗分類】草<sup>147</sup>

【用途】家畜用

38 チチリガン [ʧi ʧiryɔn]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：ホジルトハ（森林）

【別名】—

【生育地】森林（トハ）、山の北麓（アル・ガザル）、山の南麓（オルクン・ガザル）

【生育標高】1200m

【学名】*Hippophae rhamnoides*<sup>148</sup>

【科名】グミ科<sup>149</sup>

【和名】シーバックソーン<sup>150</sup>

【中国語名】沙棘<sup>151</sup>

【内モンゴル名】チチラガラン

【生物学分類】落葉低木<sup>152</sup>

【民俗分類】樹木<sup>153</sup>

【用途】薬用

39 チョス・オブスン [tʃos oβsyn]



引用<sup>154</sup>

【別名】—

【生育地】森林（トハ）、山の頂の草地（シリ）

【生育標高】900m

【学名】*Ixeris chinensis* (Thunb.) Nakai<sup>155</sup>

【科名】キク科

【和名】マンシュウタカサゴソウ<sup>156</sup>

【中国語名】山苦苣<sup>157</sup>

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】多年生草本<sup>158</sup>

【民俗分類】草<sup>159</sup>

【用途】薬用

40 ツァキレデゲ [tsakəldəg]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】900m以上

【学名】*Irs lacteal pall. var. chinensis* (Fisch.) K.<sup>160</sup>

【科名】アヤメ科

【和名】ネジアヤメ<sup>161</sup>

【中国語名】马蔺子<sup>162</sup>

【内モンゴル名】ツァキラドグ

【生物学分類】多年生草本<sup>163</sup>

【民俗分類】草<sup>164</sup>

【用途】家畜用、娯楽用

41 チンデン・モドン [činden mōdon]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（谷）

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1500m

【学名】*Sorbu tianschanica* Rupr.<sup>165</sup>

【科名】バラ科

【和名】不明

【中国語名】天山花楸

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】灌木

【民俗分類】樹木<sup>166</sup>

【用途】娯楽用、生活用

42 ツウル・オブスン [tsu:r øβsyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】1000m以上

【学名】*Plantago asiatica* L.<sup>167</sup>

【科名】オオバコ科

【和名】オオバコ<sup>168</sup>

【中国語名】车前<sup>169</sup>

【内モンゴル名】ウクル・オルグナ

【生物学分類】多年生草本<sup>170</sup>

【民俗分類】草<sup>171</sup>

【用途】薬用、家畜用

43 テネゲ・オブスン [tenig øβsyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

【別名】 [jaryə tsetseg]

【生育地】 どこでも

【生育標高】 900m 以上

【学名】 *Hyoscyamus nige* L.<sup>172</sup>

【科名】 ナス科

【和名】 ヒヨス<sup>173</sup>

【中国語名】 天仙子<sup>174</sup>

【内モンゴル名】 テネゲ・エブスウ<sup>175</sup>

【生物学分類】 二年生草本<sup>176</sup>

【民俗分類】 草<sup>177</sup>

【用途】 薬用、家畜用

44 トウンゲン [tyngyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（山の低地）

【別名】 —

【生育地】 どこでも

【生育標高】 1300m 以上

【学名】 *Achnatherum splendens* (trin.) Nevski<sup>178</sup>

【科名】 イネ科

【和名】 ハネガヤ

【中国語名】 芨芨草<sup>179</sup>

【内モンゴル名】 デレスウ

【生物学分類】 多年生草本<sup>180</sup>

【民俗分類】 草<sup>181</sup>

【用途】 家畜用、紐用、信仰用

45 ドラヌ [dolanu]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（谷）

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1400m以上

【学名】*Crataegus pinnatifida* Bge.<sup>182</sup>

【科名】バラ科<sup>183</sup>

【和名】サンザシ<sup>184</sup>

【中国語名】山楂<sup>185</sup>

【内モンゴル名】ホワ・ドローナ<sup>186</sup>

【生物学分類】落葉灌木<sup>187</sup>

【民俗分類】樹木<sup>188</sup>

【用途】食用、薬用

46 ノスン・トロハー [nosun tol xa:]



引用<sup>189</sup>

【別名】—

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1600m

【学名】*Pulsatilla* spp.<sup>190</sup>

【科名】キンポウゲ科

【和名】ヒロハオキナグサ<sup>191</sup>

【中国語名】白头翁<sup>192</sup>

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】多年生草本<sup>193</sup>

【民俗分類】草<sup>194</sup>

【用途】家畜用

47 ノハン・ホシヨ [noχan χɔʃʊ]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：ホジルトハ（森林）

【別名】—

【生育地】森林（トハ）

【生育標高】1000m以上

【学名】*Rosa davurica* pall.<sup>195</sup>

【科名】バラ科<sup>196</sup>

【和名】オオタカネバラ<sup>197</sup>

【中国語名】山刺玫<sup>198</sup>

【内モンゴル名】キンガン・ザムル<sup>199</sup>

【生物学分類】落葉低木<sup>200</sup>

【民俗分類】樹木<sup>201</sup>

【用途】食用

48 ハダン・ハグ [χadan χag]



引用<sup>202</sup>

【別名】—

【生育地】山の北麓（アル・ガザル）、山の南麓（オルクン・ガザル）

【生育標高】1400m

【学名】*Parmelia saxatilis* Ach<sup>203</sup>

【科名】パイカモ科<sup>204</sup>

【和名】ミヤマカラクサゴケ<sup>205</sup>

【中国語名】石花<sup>206</sup>

【内モンゴル名】ハダン・ガグ

【生物学特徴】不明

【民俗分類】不明

【用途】薬用、染料用



49 ハル・ハド [χar χad]



引用<sup>207</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】不明
- 【生育標高】1300～1900m
- 【学名】*Ribes nigrum* L.<sup>208</sup>
- 【科名】スグリ科
- 【和名】クロスグリ
- 【中国語名】黒果茶藨
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】落葉低木
- 【民俗分類】不明
- 【用途】食用、薬用

50 ハルハー [χalχa:]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：バホルグ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】どこでも
- 【生育標高】1000m 以上
- 【学名】*Urtica cannabina* L.
- 【科名】イラクサ科
- 【和名】イラクサ
- 【中国語名】苧麻
- 【内モンゴル名】ハルガイ
- 【生物学分類】多年生草本<sup>209</sup>
- 【民俗分類】草<sup>210</sup>
- 【用途】家畜用、薬用

51 ハル・ホルスン [χar χorson]



撮影年月：2011年8月

撮影場所：ハンガンゴル（谷）

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）
- 【生育標高】1600m
- 【学名】*Aconitum soongoricum* Stapf.<sup>211</sup>
- 【科名】キンポウゲ科
- 【和名】トリカブト<sup>212</sup>
- 【中国語名】草乌<sup>213</sup>准嘎尔乌头
- 【内モンゴル名】プンア
- 【生物学分類】多年生草本<sup>214</sup>
- 【民俗分類】草<sup>215</sup>
- 【用途】薬用

52 ホチ・オブスン [χuts øβsyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1000m以上
- 【学名】不明
- 【科名】不明
- 【和名】不明
- 【中国語名】不明
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】草<sup>216</sup>
- 【用途】家畜用

53 ホニン・ヌデン・ツツゲ [χønyn nydyn tsetseg]



引用<sup>217</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】谷（ゴル）
- 【生育標高】1800m
- 【学名】*Heteropappus altaicus* (Willd.) Novopokr.<sup>218</sup>
- 【科名】キク科
- 【和名】アルタイノギク<sup>219</sup>
- 【中国語名】阿尔泰狗娃花<sup>220</sup>
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】多年生草本<sup>221</sup>
- 【民俗分類】花卉<sup>222</sup>
- 【用途】家畜用、薬用

54 ホムスン・ブドグ・オブスン [χòmson bødög øßsyn]



引用<sup>223</sup>

- 【別名】ヒイナエ[χijinæ]
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1200m 以上
- 【学名】*Impatiens balsamina* L.<sup>224</sup>
- 【科名】ツリフネソウ科<sup>225</sup>
- 【和名】ホウセンカ<sup>226</sup>
- 【中国語名】急性子<sup>227</sup>
- 【内モンゴル名】ホムスン・ブドグ・セセゲ
- 【生物学分類】一年生草本<sup>228</sup>
- 【民俗分類】花卉<sup>229</sup>
- 【用途】化粧用

55 ホルン・ブヤ [χɔɾun buja]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】どこでも
- 【生育標高】1100m 以上
- 【学名】*Sophora alopecuroides*<sup>230</sup>
- 【科名】マメ科<sup>231</sup>
- 【和名】クララ<sup>232</sup>
- 【中国語名】苦豆子<sup>233</sup>
- 【内モンゴル名】トグル・エブスン
- 【生物学分類】多年生草本<sup>234</sup>
- 【民俗分類】草<sup>235</sup>
- 【用途】薬用

56 ホルスン [χolson]



引用<sup>236</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】森林（トハ）
- 【生育標高】1000m
- 【学名】*Phragmites communis* Trin.<sup>237</sup>
- 【科名】イネ科<sup>238</sup>
- 【和名】ヨシ<sup>239</sup>
- 【中国語名】芦根<sup>240</sup>
- 【内モンゴル名】ホルス<sup>241</sup>
- 【生物学分類】多年生草本<sup>242</sup>
- 【民俗分類】草<sup>243</sup>
- 【用途】家畜用

57 バラグン[balyon]



引用<sup>244</sup>

- 【別名】—
- 【生育地】森林（トハ）
- 【生育標高】900m
- 【学名】*Myricaria germanica* (L.) Desv.<sup>245</sup>
- 【科名】ヤナギ科<sup>246</sup>
- 【和名】不明
- 【中国語名】水柏枝<sup>247</sup>
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】灌木
- 【民俗分類】樹木<sup>248</sup>
- 【用途】薬用

58 ベデ [bed]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（平野）

- 【別名】—
- 【生育地】平野（コデ・ガザル）
- 【生育標高】1100m
- 【学名】不明
- 【科名】不明
- 【和名】不明
- 【中国語名】不明
- 【内モンゴル名】不明
- 【生物学分類】不明
- 【民俗分類】草<sup>249</sup>
- 【用途】食用、家畜用

59 ボリジルガン [böldžirγən]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（山谷）

【別名】—

【生育地】山の北麓（アル・ガザル）谷（ゴル）

【生育標高】1500m

【学名】*Fragaria*<sup>250</sup>

【科名】バラ科<sup>251</sup>

【和名】野生イチゴ

【中国語名】草莓<sup>252</sup>

【内モンゴル名】ボリジルガン

【生物学分類】多年生草本<sup>253</sup>

【民俗分類】不明

【用途】食用

60 ブホ・オブスン [buχ øβsyn]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（山谷）

【別名】ケレン・ホシウー[kæraen χɔʃu:]

【生育地】谷（ゴル）

【生育標高】1400m

【学名】*Geranium pretense* L.

【科名】フウロソウ科

【和名】ロウカンソウ<sup>254</sup>

【中国語名】老鶴草<sup>255</sup>

【内モンゴル名】シメデゲレ<sup>256</sup>

【生物学分類】一年生草本<sup>257</sup>

【民俗分類】草<sup>258</sup>

【用途】薬用、食用

61 モルン・シャルラジン [mørɯn ʃaraldʒin]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：シャナガンゴル（山谷）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】1400m

【学名】*Artemisia dracunculoides* L.

【科名】キク科

【和名】タラゴン

【中国語名】椒蒿

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】多年生草本<sup>259</sup>

【民俗分類】草<sup>260</sup>

【用途】家畜用

62 モンク・セセグ [mɔ̃nk tsetseg]



用資料<sup>261</sup>

【別名】—

【生育地】山の南麓（オルクン・ガザル）

【生育標高】3000m以上

【学名】*Saussurea involucrata*<sup>262</sup>

【科名】キク科<sup>263</sup>

【和名】雪蓮花

【中国語名】天山雪蓮

【内モンゴル名】不明

【特徴】多年生草本<sup>264</sup>

【民俗分類】花卉<sup>265</sup>

【用途】薬用

63 ヤマン・ゼレゲン [jaman zergin]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：ホジルトハ（山の南麓）

【別名】ゼレゲン[zergin]

【生育地】山の南麓（オルクン・ガザル）

【生育標高】1300m

【学名】*Ephedraceae*<sup>266</sup>

【科名】マオウ科<sup>267</sup>

【和名】まおう<sup>268</sup>

【中国語名】麻黄<sup>269</sup>

【内モンゴル名】ゼレゲナ<sup>270</sup>

【生物学分類】灌木<sup>271</sup>

【民俗分類】草<sup>272</sup>

【用途】薬用、煙草用、家畜用

64 ヤマン・ホノグ [jaman χονοг]



撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（山の低地）

【別名】—

【生育地】山の低地（アダラガン・ガザル）

【生育標高】1300m

【学名】不明

【科名】不明

【和名】不明

【中国語名】不明

【内モンゴル名】不明

【生物学分類】不明

【民俗分類】草<sup>273</sup>

【用途】家畜用





撮影年月：2011年9月

撮影場所：クレ（平野）

【別名】—

【生育地】どこでも

【生育標高】1300m以上

【学名】*Xanthium sibiricum* Patrim.<sup>274</sup>

【科名】キク科<sup>275</sup>

【和名】不明

【中国語名】蒼耳<sup>276</sup>

【内モンゴル名】ヤマン・ジャング

【生物学分類】一年生草本

【民俗分類】草<sup>277</sup>

【用途】薬用

<sup>1</sup>Batumönkü (2012:300)

<sup>2</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:1520)

<sup>3</sup><http://www.pref.saitama.lg.jp/uploaded/attachment/354381.pdf#search='Inula+britannica+L.%E5%92%8C%E5%90%8D'> (2014年11月20日)

<sup>4</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:1520)

<sup>5</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:1520)

<sup>6</sup> 牧畜民 B

<sup>7</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:35)

<sup>8</sup><http://www.foliage-plant.com/plantdb/database.cgi?sline=6589&print=1&keys5=%83T%83r%83i%83r%83%83%83N%83V%83%93&tid=list2>

<sup>9</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:35)

<sup>10</sup>『Ürtü urgumul-un zurugtu toli』(2008:35)

<sup>11</sup> 牧畜民 B

<sup>12</sup>Batumönkü (2012:146)

<sup>13</sup>Batumönkü (2012:146)

<sup>14</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search;\\_ylt=A2RhZOOqFIFUFgIAyryJBtF7?p=Sonchus+brachyotus+%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top\\_ga1\\_sa&tid=top\\_ga1\\_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=](http://search.yahoo.co.jp/search;_ylt=A2RhZOOqFIFUFgIAyryJBtF7?p=Sonchus+brachyotus+%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top_ga1_sa&tid=top_ga1_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=) (2014年12月3日)

<sup>15</sup>Batumönkü (2012:146)

<sup>16</sup>Otqun tömürböq (2008:207)

<sup>17</sup> 牧畜民 B

<sup>18</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E9%A9%AC%E5%8B%83%E7%A7%91&ei=UTF-8&fr=top\\_ga1\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E9%A9%AC%E5%8B%83%E7%A7%91&ei=UTF-8&fr=top_ga1_sa&x=wrt)

<sup>19</sup><http://www.e-yakusou.com/sou/sou155.htm> (2014年4月30日)

<sup>20</sup>Batumönkü (2012 :8 )

- 
- <sup>21</sup><http://www.e-yakusou.com/sou/sou155.htm> (2014年4月30日)
- <sup>22</sup>Batumönkü (2012:8)
- <sup>23</sup>『Ürtü urğumul-un zurugtu toli』(2008:1522)
- <sup>24</sup>除・巴・黄 (2009:450)
- <sup>25</sup> 牧畜民 B
- <sup>26</sup> Batumönkü (2012:362)
- <sup>27</sup> Batumönkü (2012:362)
- <sup>28</sup>Liuzhenguo,čečinbatur (2011:169)
- <sup>29</sup><https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%82%A4%E3%82%A4%E3%83%AD%E3%83%A8%E3%83%A2%E3%82%AE> (2014年5月23日)
- <sup>30</sup>Liuzhenguo,čečinbatur (2011:169)
- <sup>31</sup>Liuzhenguo,čečinbatur (2011:169)
- <sup>32</sup> 牧畜民 B
- <sup>33</sup>Batumönkü (2012:52)
- <sup>34</sup>Batumönkü (2012:52)
- <sup>35</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search?p=Gymnadenia+conopsea%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_gal\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=Gymnadenia+conopsea%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_gal_sa&x=wrt) (2014年12月3日)
- <sup>36</sup>Batumönkü (2012:52)
- <sup>37</sup>Liuzhenguo,čečinbatur (2011:157)
- <sup>38</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search?p=Gymnadenia+conopsea%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_gal\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=Gymnadenia+conopsea%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_gal_sa&x=wrt) (2014年12月3日)
- <sup>39</sup> 牧畜民 B
- <sup>40</sup>Batumönkü (2012:368)
- <sup>41</sup>Batumönkü (2012:368)
- <sup>42</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search;\\_ylt=A2RhYkpw1QNW81EA3tWJBtF7?p=Malva+silvestris%E3%80%80%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top\\_gal\\_sa&tid=top\\_gal\\_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=](http://search.yahoo.co.jp/search;_ylt=A2RhYkpw1QNW81EA3tWJBtF7?p=Malva+silvestris%E3%80%80%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top_gal_sa&tid=top_gal_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=)  
(2014年12月8日)
- <sup>43</sup>Batumönkü (2012:368)
- <sup>44</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search;\\_ylt=A3aX6eYbAYVURB4AFO2JBtF7?p=Malva+silvestris%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top\\_gal\\_sa&tid=top\\_gal\\_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=](http://search.yahoo.co.jp/search;_ylt=A3aX6eYbAYVURB4AFO2JBtF7?p=Malva+silvestris%E5%92%8C%E5%90%8D&search.x=1&fr=top_gal_sa&tid=top_gal_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=)2014年12月8日
- <sup>45</sup> 牧畜民 B
- <sup>46</sup>[http://image.search.yahoo.co.jp/search?ei=UTF-8&fr=top\\_lt9\\_sa&p=%E4%BC%8A%E7%8A%81%E9%87%8E%E7%94%9F%E8%8B%B9%E6%9E%9C](http://image.search.yahoo.co.jp/search?ei=UTF-8&fr=top_lt9_sa&p=%E4%BC%8A%E7%8A%81%E9%87%8E%E7%94%9F%E8%8B%B9%E6%9E%9C)
- <sup>47</sup>王 (2006:167)
- <sup>48</sup>難波・池上 (2011:265)
- <sup>49</sup><http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%AA%E3%83%B3%E3%82%B4> (2014年11月28日)
- <sup>50</sup> 牧畜民 B
- <sup>51</sup>難波・池上 (2011:79)
- <sup>52</sup>難波・池上 (2011:279)
- <sup>53</sup>難波・池上 (2011:279)
- <sup>54</sup>Batumönkü (2012:60)
- <sup>55</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%A4%A7%E9%BA%BB%E5%A4%9A%E5%B9%B4%E8%8D%89&sp=1&aq=-1&ei=UTF-8&fr=top\\_gal\\_sa&SpellState=](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%A4%A7%E9%BA%BB%E5%A4%9A%E5%B9%B4%E8%8D%89&sp=1&aq=-1&ei=UTF-8&fr=top_gal_sa&SpellState=) (2014年12月8日)
- <sup>56</sup> 農耕民 A
- <sup>57</sup>難波・池上 (2011:293)
- <sup>58</sup>難波・池上 (2011:293)
- <sup>59</sup>『Ürtü urğumul-un zurugtu toli』(2008:102)
- <sup>60</sup>[http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E6%9D%8F%E4%BB%81+%E8%90%BD%E8%91%89%E6%9C%A8&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_gal\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E6%9D%8F%E4%BB%81+%E8%90%BD%E8%91%89%E6%9C%A8&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_gal_sa&x=wrt) (2014年12月8日)

- 
- 61 牧畜民 B  
62王 (2006:163)  
63[http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E8%92%B2%E5%85%AC%E8%8B%B1&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_gal\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E8%92%B2%E5%85%AC%E8%8B%B1&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_gal_sa&x=wrt) (2014年4月23日)  
64 牧畜民 B  
65<http://mikawanoyasou.org/data/nisikisou.htm> (2015年1月2日)  
66 牧畜民 B  
67Batumönkü (2012:5)  
68Batumönkü (2012 :5)  
69[http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=20634](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=20634) (2015年1月2日)  
70Batumönkü (2012:5)  
71Liuzhenguo,čečinbatur (2011:302)  
72Batumönkü (2012 :5)  
73Batumönkü (2012:153)  
74<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%AB%E3%83%A9%E3%82%B7%E3%83%8A> (2015年1月5日)  
75Batumönkü (2012 :152)  
76 農耕民 A  
77Batumönkü (2012:281)  
78Batumönkü (2012 :281)  
79<http://tanalog.com/taiseidrug/2013/08/07/1375837405937.html> (2015年1月2日)  
80<http://tanalog.com/taiseidrug/2013/08/07/1375837405937.html> (2015年1月2日)  
81Batumönkü (2012:281)  
82<http://www.baikē.com/wiki/%E8%8F%A5%E5%86%A5> (2015年2月2日)  
83 醫師 B  
84Batumönkü (2012:129)  
85Batumönkü (2012:129)  
86<http://www.e-yakusou.com/sou02/soumm339-1.htm> (2015年1月5日)  
87Batumönkü (2012:128)  
88<http://www.e-yakusou.com/sou02/soumm339-1.htm> (2015年1月5日)  
89Otqun tömürböq (2008:49)  
90Otqun tömürböq (2008:49)  
91<http://www.makino.or.jp/zukan-archive/comal.php?no1=1838> (2015年1月)  
92Otqun tömürböq (2008:49)  
93 牧畜民 B  
94難波・池上 (2011:280)  
95難波・池上 (2011:280)  
96難波・池上 (2011:280)  
97難波・池上 (2011:280)  
98Batumönkü (2012:32)  
99王 (2006:164)  
100Batumönkü (2012:144)  
101Batumönkü (2012:144)  
102<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B3%E3%83%AA%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%83%80%E3%83%BC> (2015年9月24日)  
103Batumönkü (2012:144)  
104『Ürtü urğumul-un zurugtu toli』(2008:1129)  
105<http://www.t-webcity.com/~plantdan/souhon/syousai/ka-gyou/ke/gennsui/gennsui.html> (2015年1月3日)  
106『Ürtü urğumul-un zurugtu toli』(2008:1012)

- 
- 107 農耕民 A  
108 Batumönkü (2012:162)  
109 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:1017)  
110 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A4%E3%83%8A%E3%82%AE%E3%83%90%E3%82%B0%E3%83%9F> (2015年1月3日)  
111 Batumönkü (2012:162)  
112 牧畜民 B  
113 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:42)  
114 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:42)  
115 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:42)  
116 牧畜民 B  
117 Batumönkü (2012:78)  
118 王 (2006:162)  
119 牧畜民 B  
120 王 (2006:30)  
121 <http://mn94.zhaoxinpeng.com/view/5999398.htm> (2015年9月20日)  
122 Batumönkü (2012:284)  
123 <http://mikawanoyasou.org/data/hebinoborazu.htm> (2015年9月20日)  
124 牧畜民 B  
125 Batumönkü (2012:80)  
126 Batumönkü (2012:80)  
127 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A8%E3%83%A2%E3%82%AE> (2015年1月5日)  
128 Batumönkü (2012:81)  
129 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:1454)  
130 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A8%E3%83%A2%E3%82%AE> (2015年1月5日)  
131 医師 A  
132 Batumönkü (2012:80)  
133 Batumönkü (2012:70)  
134 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%A1%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B2> (2015年1月5日)  
135 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:677)  
136 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%A1%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B2> (2015年1月5日)  
137 牧畜民 B  
138 Batumönkü (2012:51)  
139 <http://www.e-yakusou.com/sou/sou218.htm> (2015年1月5日)  
140 <http://www.e-yakusou.com/sou/sou218.htm> (2015年1月5日)  
141 Batumönkü (2012:50)  
142 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:1451)  
143 <http://www.e-yakusou.com/sou/sou218.htm> (2015年1月5日)  
144 農耕民 C  
145 牧畜民 B  
146 医師 A  
147 農耕民 B  
148 Batumönkü (2012:161)  
149 Batumönkü (2012:161)  
150 <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%B3> (2014年12月11日)  
151 Batumönkü (2012:161)

- 
- <sup>152</sup><http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B7%E3%83%BC%E3%83%90%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%B3> (2014年12月11日)
- <sup>153</sup> 医師 A
- <sup>154</sup> Liuzhenguo,čečibatur (2011:277)
- <sup>155</sup> Liuzhenguo,čečibatur (2011:277)
- <sup>156</sup> [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=16990](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=16990) (2014年12月11日)
- <sup>157</sup> Liuzhenguo,čečibatur (2011:277)
- <sup>158</sup> <http://baike.baidu.com/view/100659.htm> (2014年12月11日)
- <sup>159</sup> 医師 A
- <sup>160</sup> Batumönkü (2012: 37)
- <sup>161</sup> [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_srch\\_easy.html](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_srch_easy.html) (2014年12月25日)
- <sup>162</sup> Batumönkü (2012: 37)
- <sup>163</sup> 王 (2006: 163)
- <sup>164</sup> 牧畜民 B
- <sup>165</sup> Batumönkü (2012:41)
- <sup>166</sup> 牧畜民 A
- <sup>167</sup> Batumönkü (2012:49)
- <sup>168</sup> <http://mikawanoyasou.org/data/oobako.htm> (2014年12月25日)
- <sup>169</sup> 王 (2006:163)
- <sup>170</sup> 王 (2006:163)
- <sup>171</sup> 牧畜民 B
- <sup>172</sup> Batumönkü (2012: 45)
- <sup>173</sup> [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=7487](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=7487) (2014年11月23日)
- <sup>174</sup> Batumönkü (2012 ; p 45)
- <sup>175</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008 :1321)
- <sup>176</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:1321)
- <sup>177</sup> 農耕民 A
- <sup>178</sup> Otqun tömürböq (2008 ; p228)
- <sup>179</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:63)
- <sup>180</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:63)
- <sup>181</sup> 農耕民 B
- <sup>182</sup> Batumönkü (2012: 21)
- <sup>183</sup> Batumönkü (2012:21)
- <sup>184</sup> [http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%B1%B1%E6%A5%82%E3%80%80%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_lt9\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E5%B1%B1%E6%A5%82%E3%80%80%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_lt9_sa&x=wrt) (2014年9月23日)
- <sup>185</sup> Batumönkü (2012: 21)
- <sup>186</sup> Otqun tömürböq (2008:104)
- <sup>187</sup> [http://www.e2121.com/food\\_db/viewherb.php3?viewid=157&setlang=2](http://www.e2121.com/food_db/viewherb.php3?viewid=157&setlang=2) (2014年11月10日)
- <sup>188</sup> 牧畜民 B
- <sup>189</sup> Batumönkü (2012: 92)
- <sup>190</sup> 王 (2006:163)
- <sup>191</sup> [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=30121](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=30121) (2015年2月2日)
- <sup>192</sup> 王 (2006:163)
- <sup>193</sup> 王 (2006:163)
- <sup>194</sup> 牧畜民 B
- <sup>195</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008: 762)
- <sup>196</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:762)
- <sup>197</sup> [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=1624](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=1624) (2014年5月22日)
- <sup>198</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008: 762)

- 
- 199 『*Ürtü urğumul-un zurugtu toli*』 (2008: 762)
- 200 『*Ürtü urğumul-un zurugtu toli*』 (2008: 762)
- 201 農耕民 B
- 202 Batumönkü (2012:84)
- 203 Batumönkü (2012: 85)
- 204 Batumönkü (2012: 85)
- 205 [http://www.lichenology-jp.org/index.php/about\\_lichen/checklist/claton/](http://www.lichenology-jp.org/index.php/about_lichen/checklist/claton/) (2015年9月21日)
- 206 Batumönkü (2012:85)
- 207 除・巴・黄 (2009:154)
- 208 除・巴・黄 (2009:154)
- 209 除・巴・黄 (2009:415)
- 210 牧畜民 B
- 211 Batumönkü (2012: 210)
- 212 <http://www2.mmc.atomi.ac.jp/web01/Flower%20Information%20by%20Vps/Flower%20Albumn/ch3-flowers/torikabuto.htm> (2015年9月22日)
- 213 Batumönkü (2012:210)
- 214 [http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E8%8D%89%E4%B9%8C&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_lt9\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E8%8D%89%E4%B9%8C&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_lt9_sa&x=wrt) 2015年1月15日
- 215 医師 A
- 216 農耕民 B
- 217 Batumönkü (2012:193)
- 218 Batumönkü (2012:193)
- 219 [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=25372](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=25372) (2014年9月10日)
- 220 Batumönkü (2012:193)
- 221 <http://baike.baidu.com/view/1435934.htm> (2014年9月10日)
- 222 医師 A
- 223 Batumönkü (2012:240)
- 224 Batumönkü (2012: 240)
- 225 Batumönkü (2012:240)
- 226 [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=7956](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=7956) (2014年9月10日)
- 227 Batumönkü (2012:240)
- 228 [http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%83%9B%E3%82%A6%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%AB&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top\\_lt9\\_sa&x=wrt](http://search.yahoo.co.jp/search?p=%E3%83%9B%E3%82%A6%E3%82%BB%E3%83%B3%E3%82%AB&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&fr=top_lt9_sa&x=wrt) (2014年9月10日)
- 229 牧畜民 B
- 230 王 (2006:74)
- 231 Liuzhenguo,čėčinbatur (2011:300)
- 232 <http://search.yahoo.co.jp/search?p=Sophora+alopeuroides+L+%E5%92%8C%E5%90%8D&aq=-1&oq=&ei=UTF-8&x=wrt> (2015年1月20日)
- 233 王 (2006:174)
- 234 王 (2006:174)
- 235 牧畜民 B
- 236 Batumönkü (2012:154)
- 237 Batumönkü (2012 : 154)
- 238 Batumönkü (2012: 154)
- 239 [http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist\\_detail\\_disp.php?pass=12902](http://bean.bio.chiba-u.jp/bgplants/ylist_detail_disp.php?pass=12902) (2015年1月20日)
- 240 Batumönkü (2012:154)
- 241 『*Ürtü urğumul-un zurugtu toli*』 (2008 :143)
- 242 [http://search.yahoo.co.jp/search;\\_ylt=A7dPCy5XOvlUCRoAZZ4EJf17?p=%E3%83%A8%E3%82%B7&search.x=1&fr=top\\_lt9\\_sa&tid=top\\_lt9\\_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=%E3%83%A8%E3%82%B7&afs=](http://search.yahoo.co.jp/search;_ylt=A7dPCy5XOvlUCRoAZZ4EJf17?p=%E3%83%A8%E3%82%B7&search.x=1&fr=top_lt9_sa&tid=top_lt9_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=%E3%83%A8%E3%82%B7&afs=) (2015年

---

1月20日)

<sup>243</sup> 牧畜民 B

<sup>244</sup> Batumönkü (2012: 67)

<sup>245</sup> Batumönkü (2012: 67)

<sup>246</sup> Batumönkü (2012: 67)

<sup>247</sup> Batumönkü (2012 ; p 67)

<sup>248</sup> 農耕民 A

<sup>249</sup> 牧畜民 B

<sup>250</sup> 除・巴・黄 (2009:311)

<sup>251</sup> 除・巴・黄 (2009:311)

<sup>252</sup> 除・巴・黄 (2009:311)

<sup>253</sup> 除・巴・黄 (2009:311)

<sup>254</sup> [http://www.naoru.com/44yaku1\\_ro.html](http://www.naoru.com/44yaku1_ro.html) (2015年1月20日)

<sup>255</sup> Batumönkü (2012 ; p 126)

<sup>256</sup> 『Ürtü urğumul-un zurugtu toli 』 (2008:896)

<sup>257</sup> [http://search.yahoo.co.jp/search;\\_ylt=A7YWOTTsSflUk0cAufUEJf17?p=%E3%83%8E%E3%83%8F%E3%83%A9%E3%83%95%E3%82%A6%E3%83%AD%E3%80%80%E5%B9%B4%E8%8D%89&search.x=1&fr=top\\_lt9\\_sa&tid=top\\_lt9\\_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=](http://search.yahoo.co.jp/search;_ylt=A7YWOTTsSflUk0cAufUEJf17?p=%E3%83%8E%E3%83%8F%E3%83%A9%E3%83%95%E3%82%A6%E3%83%AD%E3%80%80%E5%B9%B4%E8%8D%89&search.x=1&fr=top_lt9_sa&tid=top_lt9_sa&ei=UTF-8&aq=&oq=&afs=) (2015年1月25日)

<sup>258</sup> 牧畜民 B

<sup>259</sup> <http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%BF%E3%83%A9%E3%82%B4%E3%83%B3> 2015年1月16日

<sup>260</sup> 牧畜民 B

<sup>261</sup> 王 (2006:146)

<sup>262</sup> 難波・池上 (2011:282)

<sup>263</sup> 難波・池上 (2011:282)

<sup>264</sup> 難波・池上 (2011:282)

<sup>265</sup> 牧畜民 B

<sup>266</sup> 難波・池上 (2011:268)

<sup>267</sup> 難波・池上 (2011:268)

<sup>268</sup> 難波・池上 (2011:268)

<sup>269</sup> 難波・池上 (2011:268)

<sup>270</sup> Otqun tömürböq (2008:39)

<sup>271</sup> 王 (2006:164)

<sup>272</sup> 牧畜民 B

<sup>273</sup> 牧畜民 B

<sup>274</sup> Otqun tömürböq (2008:176)

<sup>275</sup> Otqun tömürböq (2008:176)

<sup>276</sup> Otqun tömürböq (2008:176)

<sup>277</sup> 牧畜民 B

(ばやりた・千葉大学大学院人文社会科学研究所)

# The use of the wild plants by the Oirad-Mongols in the Tekes district, Yili region, Xinjiang

Bayarta

## **Summary:**

This paper analyzes 65 species of wild plant used by Oirad Mongolian people in Tekes, Xinjiang. Oirad Mongolian people use these wild plants for a variety of purpose including medicine, food, forage and are classified according to each plants shape and usage. In addition, these plants are locally recognize in term of the geographical location of their habitat, which is closely related to their traditional transhumance. However, these plants can also be classified on the basis of their biological order which is distinct from the Oirad Mongolian people's classification.